

TEL 233 340 000  
 FAX 224 313 684  
 Email gakko@jpschool.cz

# VLTAVA

学校教育目標

「自ら学び 共に学ぶ 豊かな心と国際性あふれる たくましい児童生徒の育成」

目指す子ども像

「かしこい子・やさしい子・たくましい子・世界で生きる子」

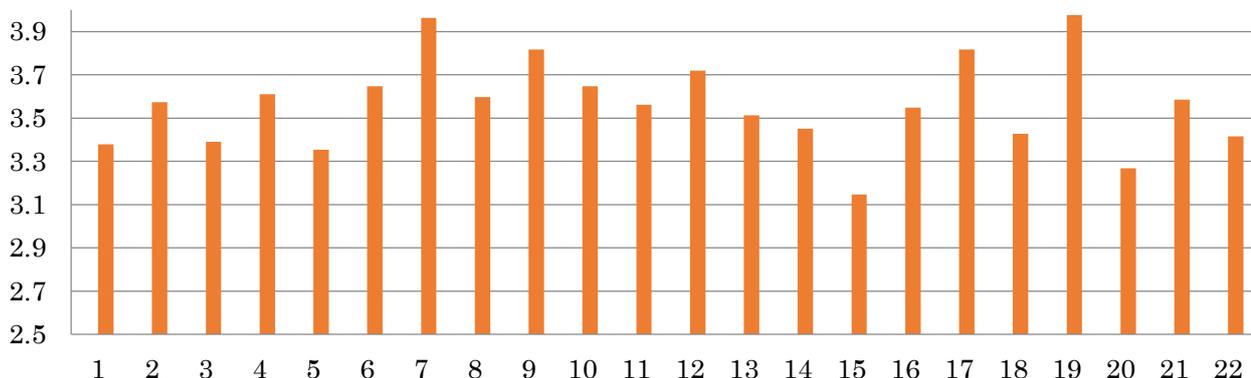
## 平成 28 年度学校評価アンケート集計

(全体懇談会当日、この資料をご持参ください。)

No	学校評価アンケート 質問内容	評価
1	学校では、日本人のアイデンティティーを大切にした教育が行われている。	3.38
2	学校は、国際理解を深める教育に積極的に取り組んでいる。	3.57
3	学校では、特色のある教育活動が行われている。	3.39
4	学校は、社会のルール、マナーや基本的生活習慣を身につけさせようとしている。	3.61
5	学校は、自主・自律的な子どもを育てようとしている。	3.35
6	学校は、基礎学力を充実させるよう努めている。	3.65
7	学校の雰囲気はよく、教員・職員は礼儀正しく親切である。	3.96
8	管理職（校長、教頭）は、学校の対応や方針についてきちんと説明してくれる。	3.6
9	教員は、子どもたちの教育に熱心に取り組んでいる。	3.82
10	教員は、子どもの能力や努力を適切、公平に評価してくれる。	3.65
11	教員は、子どもの間違っただ行動をきちんと指導してくれる。	3.56
12	教員・職員は、子どものことについて適切に相談に応じてくれる。	3.72
13	学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	3.51
14	学習の内容や進捗等を、懇談や学級通信等によってよく知ることができる。	3.45
15	通知表の内容（学力や達成度等）を、保護者は適切に把握することができる。	3.15
16	学校は、保護者の悩みや相談に適切に対応してくれる。	3.55
17	子どもは、学校生活が楽しいといっている。	3.82
18	子どもは、授業が楽しくわかりやすいといっている。	3.43
19	子どもは、運動会、学習発表会、その他の学校行事に積極的に参加している。	3.98
20	学校は、子どもの体力の育成を視野にいたれた活動に、適切に取り組んでいる。	3.27
21	学校は事故防止に配慮し、子ども・保護者の安全に対する意識を育てよう努めている。	3.59
22	学校は、施設、設備の充実・整備に努めている。	3.41

「評価」は、  
 A（よくあ  
 てはまる）、  
 B（ややあ  
 てはまる）、  
 C（あまりあ  
 てはまらない）、  
 D（あては  
 まらない）  
 の4段階評  
 価を、4～1点  
 として点数換  
 算した平均値  
 です。

### 質問項目別の評価（28年度）



### （高い評価）

1. 子どもは、運動会、学習発表会、その他の学校行事に積極的に参加している。(4.0)
2. 学校の雰囲気はよく、教員・職員は礼儀正しく親切である。(4.0)
3. 教員は、子どもたちの教育に熱心に取り組んでいる。(3.7)
3. 子どもは、学校生活が楽しいと知っている。(3.7)
5. 教員・職員は子どものことについて、適切に相談に応じてくれる。(3.5)

### （低い評価）

1. 通知表の内容（学力や達成度等）を、保護者は適切に把握することができる。(3.1)
2. 学校では、子どもの体力の育成を視野にいれた活動に、適切に取り組んでいる(3.3)
3. 学校は、自主・自律的な子どもを育てようとしている。(3.4)
4. 学校では、日本人のアイデンティティを大切にされた教育が行われている。(3.4)
5. 学校では、特色のある教育活動が行われている。(3.4)

子どもたちが学校行事に熱心に参加し、学校生活が楽しいと感じていること、また教員が熱心に教育に取り組み礼儀正しく親切である、子どもの相談に適切に応じていると評価されたことは、引き続き継続できるように励んでまいります。しかし、通知表の内容が的確に把握できないという評価をうけて、平日頃の教育活動や児童生徒の様子だけでなく、指導のねらいや方法についても保護者の方々にしっかりと伝え、連携を深めてまいります。自主自律的な子どもの育成については、学級での活動や児童生徒会活動を通して育ててまいります。また、体力の育成については、来年度は、学校の重点目標として取り組んでいきます。「特色ある教育」や「日本人のアイデンティティ」については、在外教育施設の目的である「学力の保障」と「国際性の涵養」とつながる部分です。来年度は、より一層「学びあい」と「わかる授業」を推進し、学ぶことの本質的な喜び・楽しさを味わわせていきたいと考えています。

### 【学習指導】

少人数学級の良さを生かしたきめ細かい指導が、本校の学習の最大の強みであると考えています。そのために、毎時間の授業の目標を明確にして、学びあいを通して学力をつけてまいります。今子どもたちに求められている学力とは、基本的な知識・技能だけでなく、考える力・表現する力そして学習意欲とされています。小中学校の9年間の発達段階を考慮しながら、各学年にふさわしい学習課題を克服させていきます。中学部の1学期と3学期の中間テストにつきましては、運動会の時期や学期の長さなどから十分な試験範囲が設定できず本校では実施しておりません。生徒の主体的に学ぶ姿勢を、日頃の学習から身につけていけるよう取り組んでまいります。

### 【生活指導】

日本人学校では、小中学生が一緒に縦割りの活動が多くあります。そうした経験を通して望ましい社会性を育ててまいります。また基本的生活習慣、社会生活上のきまりや善悪の判断を身に着けさせるために、教職員はもとよりご家庭のご協力も仰ぎながら進めてまいりたいと考えております。子どもたちの学校生活におけるご要望等を頂きましたので、来年度も今年度以上に面談や連絡帳などご家庭との連携をより一層深めてまいります。

### 【保健・安全】

2週にわたる断水による休校では、保護者の皆様には大変お世話になりました。断水時の対応については検討中です。また、長期休業中のチェコ国外の旅行先の報告ではお手数をおかけしました。今後も、

万が一の備えとしてお願いいたします。今年度は、スモッグ警報が発令されましたので、校外での活動に配慮してまいります。健康面では、欧州医師会と連携を取りながら、児童生徒のけがや病気の際の対応を充実させてまいります。

### 【学校行事】

来年度も、行事で身につけた力を毎日の学習や生活で生かしていく指導を進めてまいります。来年度の運動会では、保護者の参加だけでなく、日本人学校に通学していない日本の児童生徒にも参加できるように新しい種目を検討しています。学習発表会の開催日は、毎年別の日を設定しようとしていますが、なかなかうまく調整が付きません。再来年度への課題です。オープンスクールにつきましては、授業参観だけでなく、学校の教育の目標や活動内容をよりわかりやすく説明する機会として改善してまいります。修学旅行につきましては、今後児童生徒数の減少も予想されますので、来年度からは4月当初の当該学年の児童生徒数が男女別で少ない場合は、下の学年を参加させて実施します。加えて旅行方面についても検討してまいります。

### 【進路指導】

進路指導では、子どもたちが将来の夢に向かって前向きに取り組んでいけるように今後もきめ細かい指導を続けていきたいと考えております。また、海外では受験や学力への不安が非常に大きいことを強く認識しております。学校からは進路情報をさらに適切に提供するとともに、受験にむけての学習を重視するとともに、学力到達度テストによる児童生徒の客観的な学力の把握にも努めてまいります。

### 【国際理解】

国際性の涵養は、日本人学校の最重要課題でもあります。日本人としてのアイデンティティは、日本人学校で学ぶ中で生活習慣やマナーを身につけることに加えて、和太鼓や日本舞踊、茶道など日本固有の文化に親しむことと考えており、そうした活動を増やしてまいります。また、異なる文化を持つ人々と交流ができる能力も大切です。チェコ文化理解の常勤講師を2名体制として、チェコ語指導やチェコ文化とりわけプラハをより深く知るための学習を進めます。また、高学年以上に対してチェコ現地校教員による英語での授業も引き続き実施します。英会話の授業につきましては、より一層目標を明確にして児童生徒の評価の在り方についても検討してまいります。日頃体育の授業や避難訓練などでお世話になっている現地校への日本文化紹介を地域貢献の視点からも活性化していきます。

### 【課外活動】

課外活動の実施にあたりましては、日本人会施設である本校の体育館等を使用して保護者等のボランティアによって行われています。こうした活動をより増やせるような方向で、今後学校運営委員会や日本人会と検討していければと考えております。

### 【学校評価アンケートについて】

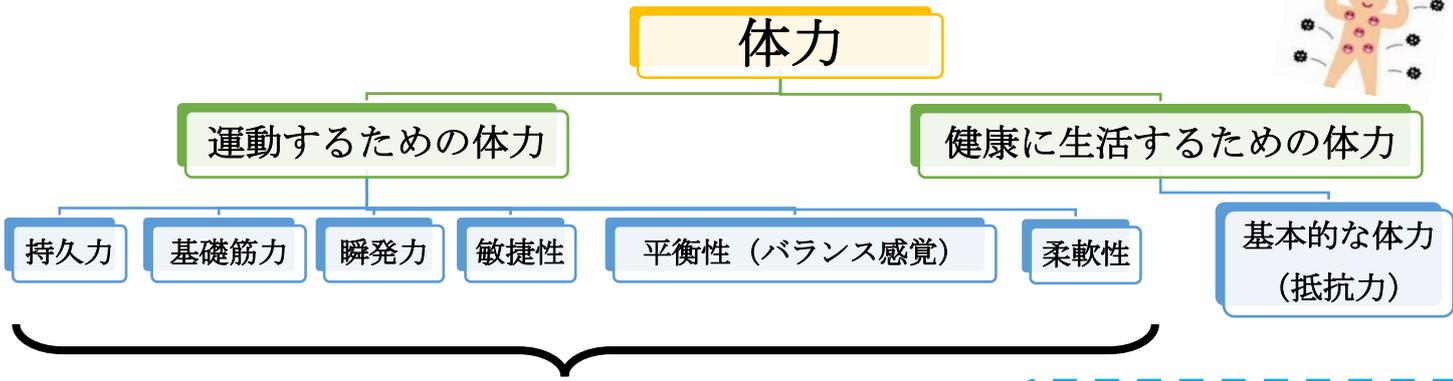
経年的な変化を知るために、大きく項目等の変更を行いませんでした。来年度は、学校評価の目的を見直しながら検討してまいります。

### 【スクールバスについて】

スクールバスの停留所の2箇所化につきましては、その実施に当たりまして手続き上の部分で大変ご迷惑をおかけしました。円滑かつ安全な運行を進めてまいります。また、アンケートから浮かび上がりました様々な課題につきましては、運営委員会で今後も継続して審議してまいります。

# プラハっ子 体力向上プラン

～一人一人の『できた！伸びた！』を大切に～



バランスのよい力のつけ方が大切！

生涯の健康な体づくりへ



体力向上プラン…

定期的な体力向上運動



- ・週2回、朝の時間を活用した運動機会の増加。
- ・短縄やダンス、マラソンなど、年齢や能力に関係なく、個々のレベルに応じて取り組める有酸素運動を実施する。

- ・体育の授業で、育みたい体力を意識したウォーミングアップを行う。(基礎体力の向上)
- 1学期 (基礎筋力や瞬発力を意識した運動)
- 2学期 (平衡性や敏捷性を意識した運動)
- 3学期 (持久力や柔軟性を意識した運動)

自己目標の設定

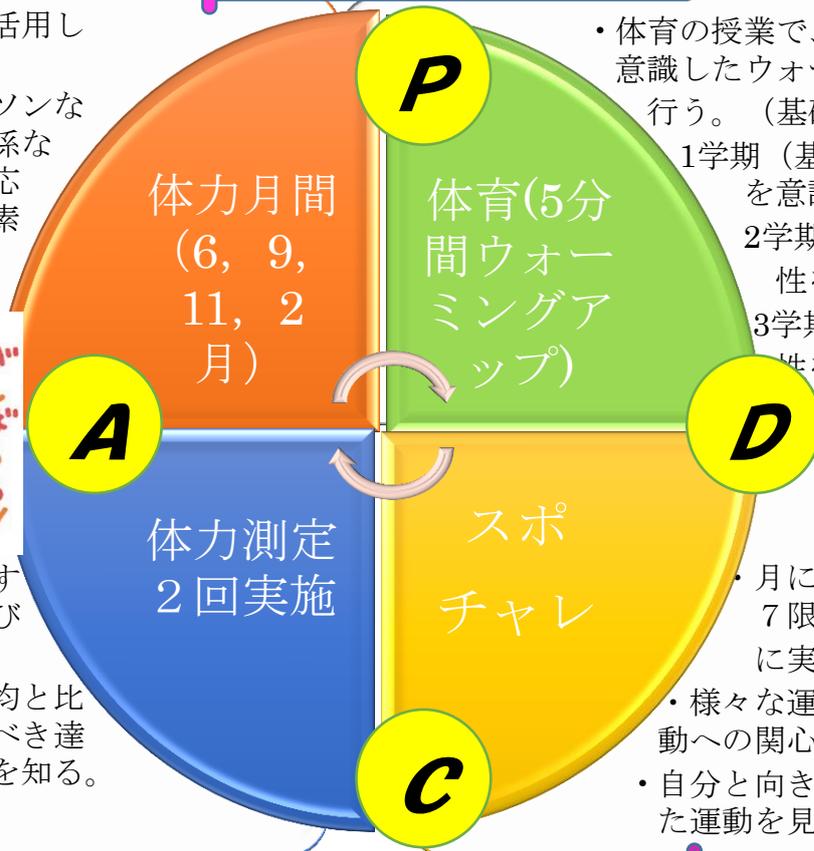


- 5月と11月に実施することで、自分の伸びや不足体力を知る。
- ・全国平均やクラス平均と比較しながら、目指すべき達成目標と自分の実力を知る。

生涯スポーツへの意識付け



- ・月に1回、水曜日の7限(15:20～16:00)に実施する。
- ・様々な運動に親しみ、運動への関心・意欲を高める。
- ・自分と向き合い、自分に合った運動を見つける。



体力の自己分析

### 3. 目指す子ども像…

- ・一人一人が『できた！伸びた！』ことの喜びを感じられる子どもたち
- ・運動する大切さを知り、健康で丈夫な体づくりを目指す子どもたち
- ・自分から進んで運動し、運動を通して、心も体も成長できる子どもたち

